



### 土地利用計画は早期に策定を

丸山 祐之 議員

**Q** 安曇野の自然環境・景観は市民の共有財産であり、それを守るべきという合意形成はできていると思う。そのための最重要施策は、早期の土地利用計画の策定である。合併協議会では「5年を目途に結論を出す」ことで合意したが、市長の強力なリーダーシップのもと早急な対策が望まれるが、どうか。

**A** (市長) 土地利用計画の早期策定は一刻の猶予もないと考える。専門家等と交え、関係団体や関係者に市民の皆さんも加わって基本的な方針を決め、各地域に漏れなく説明し、理解を得ていく作業が必要。市長としてのリーダーシップを発揮し、全国に誇れる土地利用のあり方について、市民全体で築き上げていきたい。

**Q** 地下水は安曇野の市民生活・産業にとって大切な資源である。近年は特に冬季における湧水量の減少が顕著で危惧している。旧南安曇郡水資源対策協議

**A** 地下水は安曇野の市民生活・産業にとって大切な資源である。近年は特に冬季における湧水量の減少が顕著で危惧している。旧南安曇郡水資源対策協議

**Q** 太陽光発電率は、日照時間の長さに加え気温の低さ、寒さがポイントといわれる。安曇野はこの条件を備えた適地である。遊休・荒廃農地を活用し、そこに将来農地に復

**Q** 太陽光発電はその発電効率、日照時間の長さに加え気温の低さ、寒さがポイントといわれる。安曇野はこの条件を備えた適地である。遊休・荒廃農地を活用し、そこに将来農地に復



安曇野を潤す溪流

元などの活動状況や、地下水保全条例の制定についての考えはどうか。

**A** (市長) 安曇野の地下水については、今後神経質に見ていく必要がある。松本市、塩尻市等、広域で進めなければいけないと思うが、まず安曇野市として独自にやっていくべきである。条例等も必要になるだろう。水資源対策協議会については、合併により新松本市と安曇野市が誕生し、協議会の組織を見直すなかで、地下水の保全・涵養に努め、商工のバランスのとれた市の発展に努力したい。

**Q** 合併を機に、法人格が松本市、塩尻市、大町市と同格になったことで指名業者たる企業にも考察を加えながら一定のルールが必要と思うが市長の考えは、どうか。

**A** (市長) 住民の雇用や住宅用に設置の発電所としての利用については一つの選択肢と考える。民間と行政によるパートナーシップ型公益事業など、他自治体の取り組みを参考にしていきたい。



### 新市における指名入札制度について

濱 昭次 議員

**Q** 合併を機に、法人格が松本市、塩尻市、大町市と同格になったことで指名業者たる企業にも考察を加えながら一定のルールが必要と思うが市長の考えは、どうか。

**A** (市長) 住民の雇用や住宅用に設置の発電所としての利用については一つの選択肢と考える。民間と行政によるパートナーシップ型公益事業など、他自治体の取り組みを参考にしていきたい。

**Q** 旧5町村の指名業者はどのようプロセスで選ばれていくのか。

**A** (企画財政部長) 基本的に旧5町村の分

**Q** 一般競争入札については客観性、透明性、競争性の高いメトリックを有している反面、不良業者、不適格業者の排除が難しいというデメリットがある。指名競争入札については、資力、信用その他で適格であること認める業者を選定できるメトリックがある。また一部については地方自治法施行令に基づ

づく随意契約も行っていい。入札の結果等については市のホームページ、広報等で公表していきたい。

**Q** 指名業者たる条件は、何か。

**A** (企画財政部長) 安曇野市建設工事入札制度合理化対策要綱を設けている。

**Q** 合併間もない過渡期のなかで旧5町村の分配される事業の公平性が重要と考えるがその点はどうか。

**A** (市長) 各地域ごと、業者もその地域の業者で発注及び入札を考え、今後検討する。

**Q** 安曇野市の中に東京の民間指定機関が下した建築確認建物は実在するののか。

**A** (都市建設部長) 市内の建築確認の件数は約1000件、うち民間指定確認機関によるものが17年11月末で28件、日本ER工機27件、イーハウス建築センター1棟1件である。



明科北保育園



### 安曇野全体の都市計画の方向性と景観条例について

宮下 明博 議員

**Q** 少子高齢化時代を迎え地方財政は非常に厳しくなるなか、税収を上げるためにも開発研究型企業等を誘致していくことが必要となる。また都市的機能を持つ暮らしやすい都市という観点から、安曇野の田園風景を壊さず、住みよい住宅地を供給し、人口増加を見込まなくてはならない。それには押野山の裾野15haの桑園、明科区東山沿いの現在荒れている遊休農地を有効利用していく必要がある

**A** (市長) 土地利用に当たっては地域の土地の性質、今現在どうなっているのか、これからどういったことに利用するのが一番最適か調査した上でゾーニングしていく。それを検討する委員会を早期に立ち上げていきたい。

**Q** 農業人口の減少また高齢化のなか、用水路の管理一つ取ってみても大変になっている。例えば明科の川西地区を流れる「五ヶ用水路」約10km、これは防火用水、排水路を兼ねている。大雨の降った時は相当の土砂が流れ込み、この土砂上げというのが高齢化の中で大変な仕事になっている。用水路の改修も含め市としての協力ができるか。

**A** (産業観光部長) その状況がよく把握できていないので、見させていた



長峰山から安曇野を望む

**A** (市長) 統一されたサインボードになっていくことは景観上、大変大切なことだと思

**Q** 安曇野の景観を守るために道路沿いの商業施設の建設を規制するのは、色・形・高さ・ネオン等を厳しく規制し、安曇野にふさわしい安曇野カラーの建物(碌山美術館のイメージ色)に統一していく必要があると思う。これから予定される安曇野市の公共施設や病院等において、統一された安曇野カラーのもとに設計を進めることを強く望む。市が見本を作り民間を指導していくことが必要だと思うが、どうか。

**Q** 低迷する観光と観光行政。市長は現状と実態をどのように把握されているのか。

**Q** 先般、聞き取り調査をした結果、ホテルはスキー客、滞在型の宿泊者、地元客の激減、旅館は、県外客の激減。新規の客が少なく、美術館やペンションは、夏場の県外客の激減である。理由は、長野県の観光の低迷・自然の見どころ・観光ルートが安房トンネル開通で変わった。観光の目玉が少なく、景観条例による看板誘導ができず、通過地となる等であるが現状をどう考えるか。

**Q** 観光業者を育てることも大事。行政指導で最良の方法を考えてほしいが、(市長) 観光客の激減をとり、対応したい。